

エコアクション21

環境経営レポート2024

活動期間 2023年8月～2024年7月



スズエ浜松株式会社



®環境省

エコアクション21

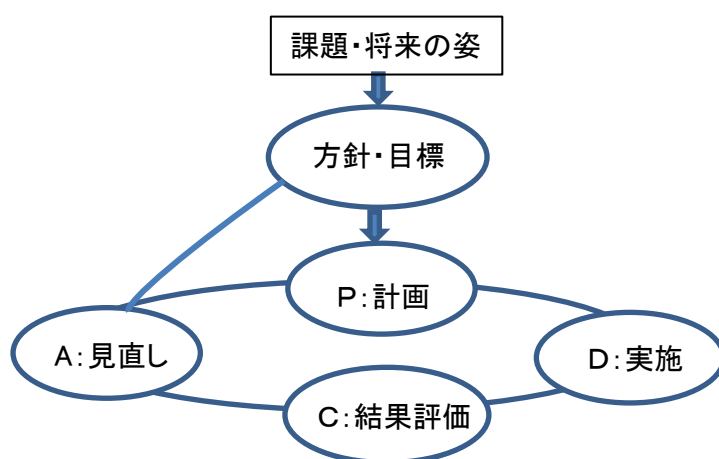
認証番号0000386

発行日：2024年10月9日

目 次

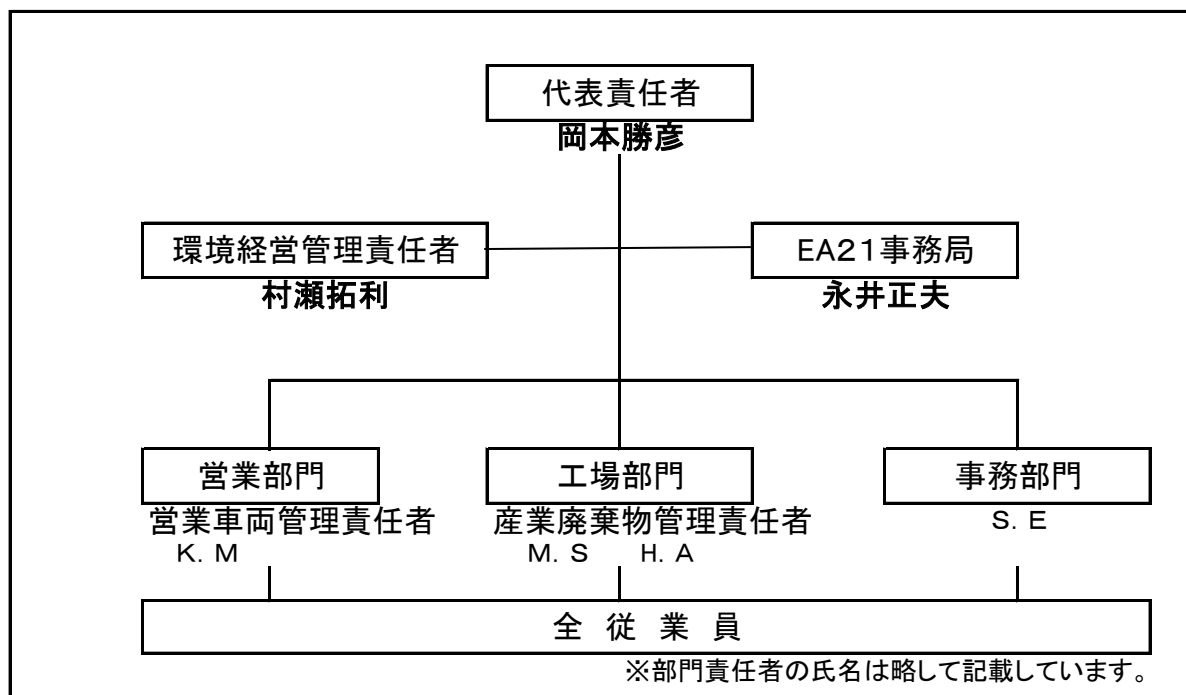
ページ

要求事項1.	1. 取組の対象組織・活動	1
要求事項2.	2. 経営課題とチャンス	2
要求事項3.	3. 環境経営方針	3
要求事項4.	4. 環境への負荷と環境への取組状況の把握と評価	4～6
要求事項5.	5. 環境関連法規取りまとめ	7～11
要求事項6.	6. 環境経営目標と実行計画	12～14
	6-1. 環境経営目標及び環境経営計画の策定	
	6-2. 実行計画と実績	
	6-3. 中長期環境経営目標	
要求事項7.	7. 実施体制	15
要求事項8.	8. 教育・訓練	16
要求事項9.	9. 環境コミュニケーション	17～19
要求事項10.	10. 実施・運用	20～25
	10-1. 省エネルギーの推進	
	10-2. 社会貢献活動	
	10-3. 環境に配慮した製品開発	
	10-4. 工場周囲環境の改善	
	10-5. 産廃物保管方法の改善	
要求事項11.	11. 緊急事態への準備と対応	26 ～27
要求事項12.	12. 文書管理	28
要求事項13.	13. 取組結果とその評価・是正・予防	29 ～30
要求事項14.	14.代表者による全体の評価と見直し・指示	31



1. 取組の対象組織・活動

- ・対象範囲 全社員
- ・対象期間 2022年8月1日～2023年7月31日
- ・認証・登録 2005年5月 認証番号:0000386
- ・環境管理実施体制



職位	職務・役割
代表取締役	1. 環境経営管理責任者の任命 2. 環境経営方針の策定 3. 環境経営システムの目標と計画の策定 4. 環境経営システムの実施結果の評価と見直し・指示 5. 環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境経営システムの実施、管理 2. 環境経営システムの実施状況の定期的報告 3. 環境関連法規の遵守 4. 環境経営活動の取り組みの総括管理 5. 環境経営活動レポートの確認、照査 6. 問題発生・緊急事態発生時の是正処置、再発防止
EA21事務局	1. 環境経営目標、環境経営活動計画の立案 2. 環境経営活動の実績管理 3. 従業員に対する教育、訓練計画の立案、実施 4. 環境経営レポートの作成・公表
営業車両管理責任者	1. 車両状態の定期点検、日常点検 2. エコ運転の推進
事務部門	1. 照明の点灯・消灯管理 2. 適正な室温管理の徹底
産業廃棄物管理責任者	1. 産業廃棄物の削減推進 2. 一般廃棄物の削減推進
全従業員	1. 環境経営方針の理解と環境経営活動内容の理解 2. 省エネ自覚と自主的な環境経営活動への取り組み

3. 環境経営方針

【主な事業活動】

- ① 工場内合理化案のアドバイスおよびアイデア提供・設計製作、「カラクリ」を応用した台車および作業ライン設計・製作。
- ② 工場内レイアウト変更等に伴う付帯設備の設計・製作・設置

【経営理念】

「モノづくり」製造業として、環境に配慮した顧客様の満足する製品を提供し、社員ひとりひとりの幸せと会社の永続的発展と同時に社会への貢献を目指す。

【環境経営方針】

1. 受注から製造、納品まで一貫して資源の節約を図り、環境に配慮した環境経営を推進する。
2. 環境マネジメントシステムを継続して運用・改善を図る。
3. 全ての役員・社員に環境方針を徹底し、全員が理解し実践出来るように啓蒙活動を推進する。
4. 事業活動に適用される環境法や要求事項を遵守(コンプライアンス)する。

【具体的な取り組み】

企業規模に合ったシンプル＆コンパクトな効率的な環境対応活動に取り組む

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1-1. 省エネ活動の推進 | 2-1. エコアクション活動の展開と推進 |
| 1-2. リサイクル化 | |
| 1-3. 産業廃棄物の削減 | 3-1. 環境に関する教育・訓練の実施 |
| 1-4. 化学物資管理 | |
| 1-5. 水・紙の使用量の削減 | 4-1. 環境コミュニケーション活動 |
| 1-6. 製品開発 | 4-2. 緊急事態への対応 |

制定日 2005年3月25日
改定日 2020年10月1日(環境経営の策定)
改定日 2022年12月1日(主な事業活動の見直し)

代表取締役

岡本勝彦

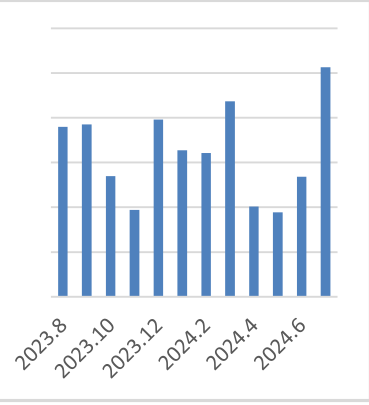
4. 環境への負荷と環境への取組状況の把握と評価

1. 環境への負荷の自己チェック:環境負荷及びその原因の特定
- ☐ 別紙、「環境への負荷の自己チェック表」による。

①CO2排出量(月別)

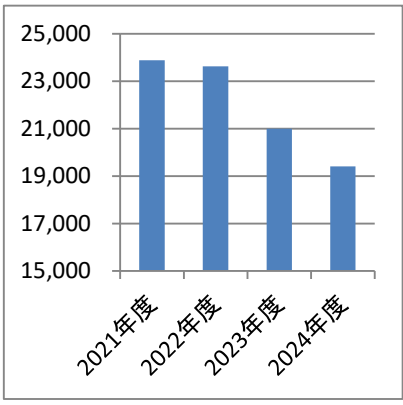
単位: kg

2023.8	1,899
2023.9	1,925
2023.10	1,349
2022.11	970
2023.12	1,981
2024.1	1,637
2024.2	1,606
2024.3	2,185
2024.4	1,009
2024.5	944
2024.6	1,343
2024.7	2,565
合計	19,412



(年度別)

2021年度	23,887
2022年度	23,634
2023年度	20,998
2024年度	19,412

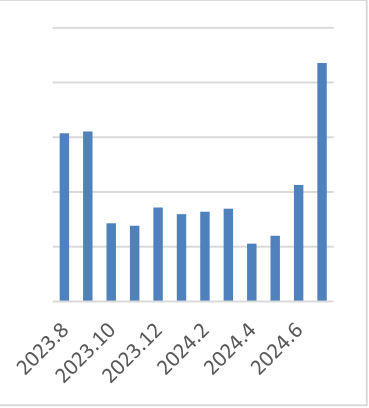


※1 CO2排出量算出に際し、中部電力ミライズ(株)電気排出係数(0.388)を使用しました。 * 年度毎に減少傾向となっている

②購入電力使用量(月別)

単為: kWh

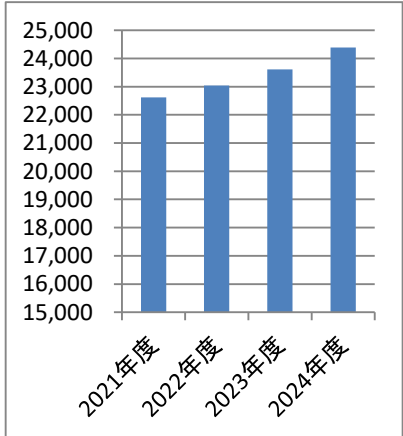
2023.8	3,074
2023.9	3,109
2023.10	1,426
2022.11	1,387
2023.12	1,719
2024.1	1,593
2024.2	1,640
2024.3	1,698
2024.4	1,054
2024.5	1,200
2024.6	2,130
2024.7	4,360
合計	24,390



(年度別)

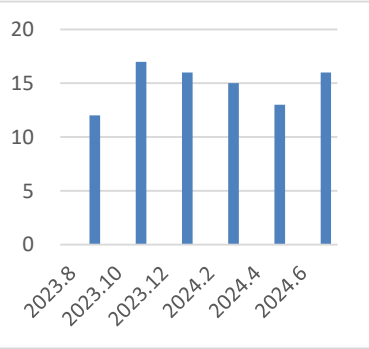
2021年度	22,621
2022年度	23,042
2023年度	23,610
2024年度	24,390

7.8月エアコン使用
の増加



③水道水使用量(月別) 単為: m3(上水道)

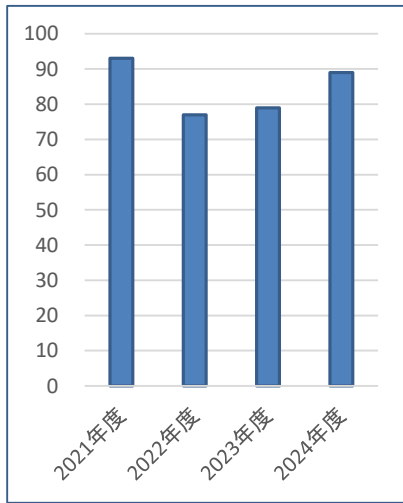
2023.8	0
2023.9	12
2023.10	0
2022.11	17
2023.12	0
2024.1	16
2024.2	0
2024.3	15
2024.4	0
2024.5	13
2024.6	0
2024.7	16
合計	89



(年度別)

2021年度	93
2022年度	77
2023年度	79
2024年度	89

軍手;洗濯→紙化
による節水

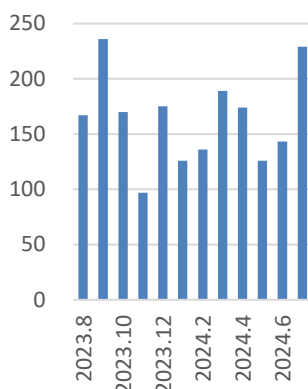


4. 環境への負荷と環境への取組状況の把握と評価

④化石燃料使用量(月別) 単位:リットル

④-1. ガソリン

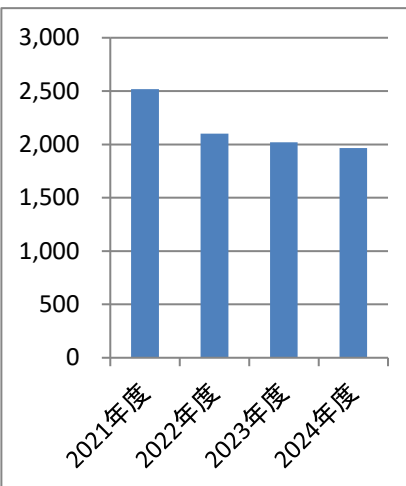
2023.8	167
2023.9	236
2023.10	170
2022.11	97
2023.12	175
2024.1	126
2024.2	136
2024.3	189
2024.4	174
2024.5	126
2024.6	143
2024.7	229
合計	1,966



(年度別)

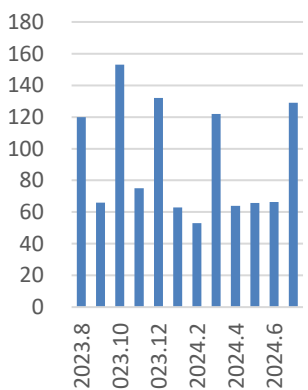
2021年度	2,518
2022年度	2,100
2023年度	2,021
2024年度	1,966

ハイエース有効活用による微減



④-2. 軽油 単位:リットル

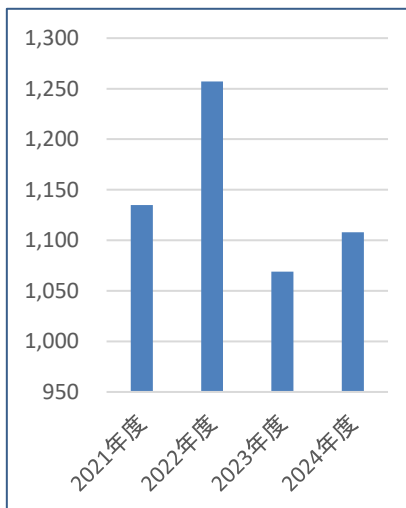
2023.8	120
2023.9	66
2023.10	153
2022.11	75
2023.12	132
2024.1	63
2024.2	53
2024.3	122
2024.4	64
2024.5	66
2024.6	66
2024.7	129
合計	1,108



(年度別)

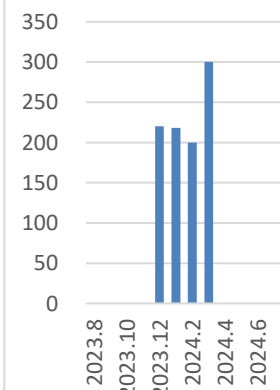
2021年度	1,135
2022年度	1,257
2023年度	1,069
2024年度	1,108

昨年並み



④-3. 灯油 単位:リットル

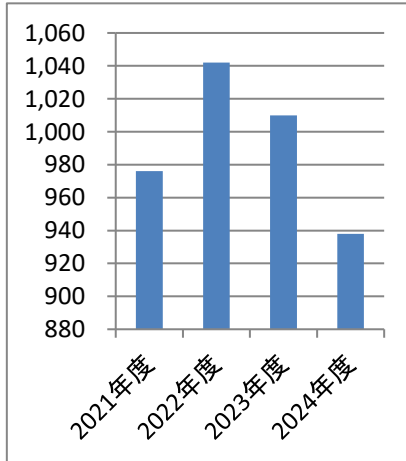
2023.8	0
2023.9	0
2023.10	0
2022.11	0
2023.12	220
2024.1	218
2024.2	200
2024.3	300
2024.4	0
2024.5	0
2024.6	0
2024.7	0
合計	938



(年度別)

2021年度	976
2022年度	1,042
2023年度	1,010
2024年度	938

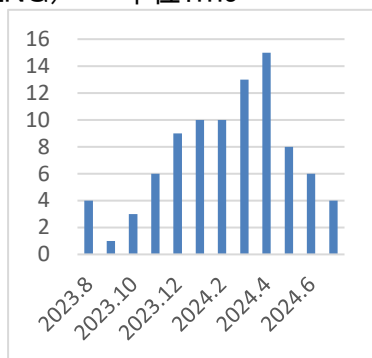
暖房削減による



4. 環境への負荷と環境への取組状況の把握と評価

④ー4.都市ガス(LNG) 単位:m3

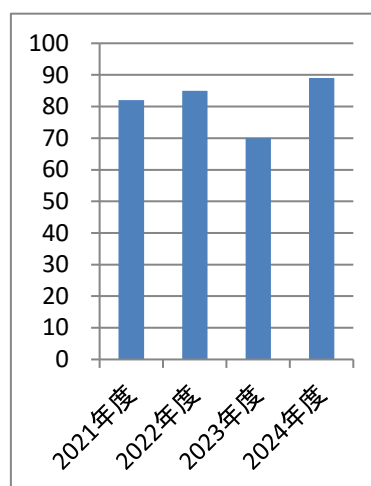
2023.8	4
2023.9	1
2023.10	3
2022.11	6
2023.12	9
2024.1	10
2024.2	10
2024.3	13
2024.4	15
2024.5	8
2024.6	6
2024.7	4
合計	89



(年度別)

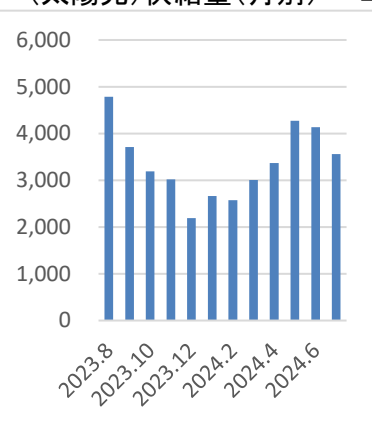
2021年度	82
2022年度	85
2023年度	70
2024年度	89

昨年並み
冬期:湯沸かし



⑤再生可能エネルギー(太陽光)供給量(月別) 単位:kWh

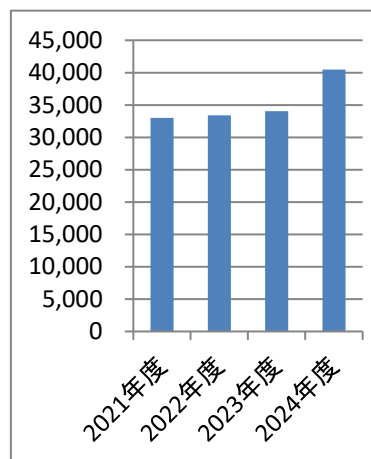
2023.8	4,787
2023.9	3,710
2023.10	3,190
2022.11	3,016
2023.12	2,191
2024.1	2,661
2024.2	2,573
2024.3	3,006
2024.4	3,368
2024.5	4,269
2024.6	4,137
2024.7	3,559
合計	40,467



(年度別)

2021年度	32,997
2022年度	33,382
2023年度	34,060
2024年度	40,467

昨年並み
日照差
経年性能劣化



5. 環境関連法規取りまとめ

① 下記の通り違反はありませんでした。

2024.7.31 永井正夫

法律等の名称	規制事項	当社の対応状況	結果
環境基本法	環境への負荷低減 環境保全活動の実施	エネルギー、投入物質、水資源、排出物の削減等の活動の実施	実施済
騒音規制法	70dB	地域からの苦情など無し	良好
振動規制法	70dB	地域からの苦情など無し	良好
水質汚濁防止法	油・洗剤の適正利用 工場排水、グリストラップ グリストラップ点検・清掃 側溝(油類などを流さない)	定期的な点検と清掃の実施	実施済
下水道法	生活排水 厨房水 トイレ汚水	外部への下水漏れ無し	良好
産廃物処理法	産廃物の排出量の低減 廃棄物の分別 適正な処置(マニフェストの交付管理) マニフェスト発行状況報告 産業廃棄物管理責任者の選任	最終処分量の削減 廃棄物保管:表示・内容・専用箱の設置 マニフェスト管理の排出交付から戻り票記録の確認 浜松市への提出(年一回) 責任者の選任	実施済
土壌汚染対策法	特定物質の使用禁止 機械油を床面に浸透させない	使用実績なし 油漏れなし	済
資源有効利用促進法	再生資源の利用推進	金属類の分別回収、有償売却 飲料水缶・ペットボトル:回収業者引渡し	実施済
家電リサイクル法	リサイクル料金の支払い	該当機器なし	---
自動車リサイクル法	リサクル料金の支払い、廃車時のリサイクルルートへの渡し義務	該当車両なし	---
道路交通法	騒音防止関連措置、一酸化炭素排出規制、NoX,SoX排出規制、油類の道路などへの排出規制など	問題・課題の発生なし	---
消防法	火災に繋がる物品の管理、消火器の設置、危険物の保管量規制	問題・課題の発生なし	---
高圧ガス規制法	爆発事故に繋がる高圧ガスボンベなどの管理、転倒防止措置の設置、保管量規制	管理の徹底と点検の実施	実施済
フロン排出抑制法	業務用の空調機器の定期点検・記録・保存	点検頻度:1回/四半期	実施済
浜松市産業廃棄物の適正な処置に関する条例	年度状況報告書の提出	6/30までに提出	R5年度報告書提出済

② 関係部門から過去3年間訴訟はありませんでした。

2024.7.31 永井正夫

5-1. 産廃物処理法

浜松市産業廃棄物の適正な処置に関する条例

年度状況報告書の提出

様式第三号（第八条の二十七関係）

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（令和 5 年度）

令和 6年 4月 18日

(あて先) 浜松市長

報告者
住所 静岡県浜松市中央区泉三丁目23の9
氏名 スズエ浜松株式会社
(法人にあつては名称及び代表者の氏名)
電話番号 053-475-8566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称					スズエ浜松株式会社				業 種		24：金属製品製造業	
事業場の所在地					静岡県浜松市中央区泉三丁目23の9				電 話 番 号		053-475-8566	
番号	産業廃棄物の種類	排出量	単位	管理票の交付枚数	運搬受託者の許可番号(下6桁)	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の許可番号(下6桁)	処分受託者の氏名又は名称	処分場所の住所		
1	0600：廃プラスチック類	0.8	m ³	1	004181	大興金属㈱	063浜松市 中央区天王町2025	004181	大興金属㈱	063浜松市	中央区天王町2025	
2	0600：廃プラスチック類	0.8	m ³	1	004181	大興金属㈱	063浜松市 中央区天王町2025	004181	大興金属㈱	063浜松市	中央区天王町2025	
3	0600：廃プラスチック類	0.03	t	1	027069	株式会社三共	063浜松市 中央区田尻町203-1	000340	株式会社リサイクルクリーン	063浜松市	天竜区二俣町二俣41	
4	0600：廃プラスチック類	0.029	t	1	027069	株式会社三共	063浜松市 中央区田尻町203-1	000340	株式会社リサイクルクリーン	063浜松市	天竜区二俣町二俣41	

備考

1 この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。

2 同一の都道府県（政令市）の区域内に、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめた上で提出すること。

3 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。

4 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。

5 運搬又は処分を委託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載するとともに、各事項について石綿含有産業廃棄物に係るものを明らかにすること。

6 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。

7 区間を区切って運搬を委託した場合又は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。

(日本産業規格 A列4番)

5-2. フロン排出抑制法

業務用の空調機器の定期点検・記録・保存

「フロン排出抑制法」に伴う簡易点検記録

スズエ浜松(株)

～2023.5月

2023.6月～

	室外機 RAS-AP160HVM1(日立)	室内機	冷媒 RA410A 4.0kg		室外機 RZRP160BY(ダイキン)	室内機	冷媒番号 R32
1号機	製造番号 U45S8229	南	出力:2.5kw(圧縮機)	1号機	製造番号 AO12523	南	フロンの種類 HFC
2号機	製造番号 U45S7770	北		2号機	製造番号 AO11943	北	数量 2.65kW
3号機	製造番号 U45S7759	西		3号機	製造番号 AO11929	西	GWP675

○:異常なし ×:異常あり

点検項目		点検日											
		2023年4月13日			2023年7月13日			2023年10月10日			2024年1月17日		
		1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機
室外機	①異常振動・異常運転音	聴感	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②機器及び機器周辺の油のにじみ	目視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③キズの有無	目視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	④熱交換器の腐食	目視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑤錆など	目視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
室内機	熱交換器の霜付きの有無	目視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不具合内容		異常無し			異常ナシ			異常ナシ			特に異常無し		
点検者		永井			永井			永井			永井		
承認		2023.8.14 岡本			2023.9.14 岡本			2023.10.11 岡本			2024.1.17 岡本		

「フロン排出抑制法」に伴う簡易点検記録

スズエ浜松(株)

～2023.5月

2023.6月～

	室外機 RAS-AP160HVM1(日立)	室内機	冷媒 RA410A 4.0kg		室外機 RZRP160BY(ダイキン)	室内機	冷媒番号 R32
1号機	製造番号 U45S8229	南	出力:2.5kw(圧縮機)	1号機	製造番号 AO12523	南	フロンの種類 HFC
2号機	製造番号 U45S7770	北		2号機	製造番号 AO11943	北	数量 2.65kW
3号機	製造番号 U45S7759	西		3号機	製造番号 AO11929	西	GWP675

○:異常なし ×:異常あり

点検項目		点検日											
		2024/4/18			2024/7/22			2024/10/			2025/1/		
		1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機
室外機	①異常振動・異常運転音	聴感	○	○	○	○	○	○					
	②機器及び機器周辺の油のにじみ	目視	○	○	○	○	○	○					
	③キズの有無	目視	○	○	○	○	○	○					
	④熱交換器の腐食	目視	○	○	○	○	○	○					
	⑤錆など	目視	○	○	○	○	○	○					
室内機	熱交換器の霜付きの有無	目視	○	○	○	○	○	○					
不具合内容		特に異常ナシ			異常なし								
点検者		永井			永井								
承認		2024.4.18 岡本			2024.7.22 岡本								

点検期間:2023.8.1～2024.7.31

* 点検結果:異常はありませんでした。

5-3. 高圧ガス規制法

高圧ガス保安法 日常点検:使用時の作動状態(異常の有無)の確認

実施日	点検項目	結果	点検者
(使用時)	高圧ガス使用時の作動	異常無し	(使用者)
	高圧ボンベ転倒防止点検:チェーンの錆、劣化、摩耗など	異常無し	(使用者)



点検期間 2023.8.1～2024.7.31: 日常点検結果は異常ありませんでした。

5-4. 下水道法

点検期間: 2023.8.1～2024.7.31

点検者: 使用者

日常点検: 下水道のつまり、汚れ、異臭など

点検結果: 異常ありませんでした。

6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

6-1. 環境経営目標

項目※1		単位	係数	2022.8～2023.7 2023年度 基準年度 実績 (BM)	2023.8～ 2024.7 2024年度 目標
CO2排出量 削減目標0.2%/年	購入電力の削減	kWh	0.523	23,610	23,563
		kg-CO2 ※1	0.379	10,884	10,862
			0.388		0
	都市ガス使用量の削減	m3		70	70
		kg-CO2	2.16	151	151
	ガソリン使用量の削減	ℓ		2,022	2,018
		kg-CO2	2.32	4,691	4,682
	灯油使用量の削減	ℓ		1,010	1,008
		kg-CO2	2.49	2,515	2,510
	軽油使用量の削減	ℓ		1,069	1,067
		kg-CO2	2.58	2,758	2,752
	CO2排出量合計			20,999	20,957
	売上高	百万円			
	CO2指数(売上連動)				
リサイクル 削減目標2%/年	鉄 スクラップ	kg		20,919	20,501
	ステンレス スクラップ	kg		1,438	1,409
	アルミ スクラップ	kg		366	359
	合 計			22,723	22,269
資源利用量 削減目標3%/年	上水道使用量	m3		79	77
	従業員数	人		10	10
	一人当たり	m3		7.9	7.7
製品開発	環境に配慮した製品開発	件数		1件	1件以上
化学物質管理	切削油 塗料 フロン排出管理	SDSの入手管理、保管管理 SDSの入手管理、保管管理 「フロン排出抑制法」に伴うエアコン簡易点検の実施			
産業廃棄物管理	保管管理 管理票交付管理	産業廃棄物保管場所表示と管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出			
環境社会への貢献活動	寄付 リサイクル	使用済切手の寄贈 使用済インクカートリッジのリサイクル回収 ダンボール・新聞・雑誌のリサイクル回収			

※1 電気排出係数: 2022.8～2023.1月: 0.523(鈴与)を使用し、2023.2月～7月0.379(中部電力)
2023.8月～2024.7月: 0.388(中部電力)を使用しました。

6-2. 実行計画&実績

2. 実行計画&実績													
No	推進項目	推進内容	担当	実施日程									
				2023年					2024年				
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
実施・運用	省エネ活動	①省エネを含む工場内合理化(物流・レイアウト・在庫管理)	岡本										
		②冷暖房の温度管理(夏期:28℃ 冬期:18℃)と換気励行											
		③社用車:省エネ冷房、アイドリングストップ運転の励行											
		④化石燃料に代わるエネルギーの運用(太陽光発電)											
		★⑤工場内冷暖房の適正運用 (使用時間の削減)つけっぱなしの防止(暑い時だけ・寒い時だけ)											
		★⑥工場内暖房 石油ストーブ→エアコン(灯油削減)併用											
		★⑦冷感ベストの着用(現場作業)											
		★⑧契約電力会社(中電)の節電プログラム参画											
	リサイクル ★	使用済インクカートリッジ:モノタロウ・エコリカによる回収											
	産業廃棄物の削減	①鉄、ステンレス、アルミ材の分別	村瀬										
		②排出量の確認、層別管理											
		③梱包資材、リサイクル材の節約と再利用の推進											
		④産業廃棄物の管理(状況報告)	永井										
	化学物質管理	①SDSの入手管理、切削油・塗料の保管管理	永井										
		②フロン排出抑制:エアコン点検(1回／3ヶ月)											
		③揮発性有機化合物の削減(トルエン含有シンナーの代替)	岡本										
	水使用量の削減	節水の推進	山田										
	紙使用量の削減	①ムダなコピーの低減	山田										
		②コピー代の原価意識の向上と推進											
		③コピー紙の裏紙使用の推進											
環境コミュニケーション★	社会貢献活動:インクカートリッジ回収～WWF募金	金山											
教育・訓練	全社員に対する環境・省エネ啓蒙活動の推進	岡本											
緊急事態	緊急事態への準備と対応	岡本											
製品開発	環境に配慮した製品の開発・アイデア提案	倉澤											
その他	他社・省エネ情報の収集	永井											

計画	承認	岡本	日付 2023.8.21	確認	村瀬	日付 2023.8.11	作成	永井	日付 2023.8.8
実績	承認	岡本	日付 2024.8.3	確認	村瀬	日付 2024.8.2	作成	永井	日付 2024.8.1

6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定

6-3. 中長期環境経営目標			期間	2023.8～ 2024.7	2024.8～ 2025.7	2025.8～ 2026.7	2026.8～ 2027.7
項目※1		単位	係数	2024年度 実績(BM)	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
CO2排出 量削減 目標 0.2%/年	購入電力の削減	kwh		24,390	24,341	24,293	24,244
		kg-CO2 ※1	0.388	9,463	9,444	9,426	9,407
	都市ガス使用量の 削減	m3		89	89	89	88
		kg-CO2	2.16	192	192	191	191
	ガソリン使用量の削 減	ℓ		1,966	1,962	1,958	1,954
		kg-CO2	2.32	4,562	4,553	4,544	4,535
	灯油使用量の削減	ℓ		938	936	934	932
		kg-CO2	2.49	2,336	2,331	2,327	2,322
	軽油使用量の削減	ℓ		1,108	1,106	1,104	1,101
		kg-CO2	2.58	2,859	2,853	2,848	2,842
	CO2排出量合計			19,412	19,373	19,334	19,296
原単位	売上高	百万円					
	CO2指数(売上連動)						
リサイクル 削減目標 2%/年	鉄 スクラップ	kg		8,950	8,771	8,596	8,424
	ステンレス スクラップ	kg		351	344	337	330
	アルミ スクラップ	kg		97	95	93	91
	合 計			9,398	9,210	9,026	8,845
資源利用 量削減 目標3%/ 年	上水道使用量	m3		89	86	85	83
	従業員数	人		10	10	10	10
	一人当たり	m3		8.9	8.6	8.5	8.3
製品開発	環境に配慮した製品 開発	件		1	1	1	1
化学物質 管理	切削油 塗料 フロン排出管理	SDSの入手管理、保管管理 SDSの入手管理、保管管理 「フロン排出抑制法」に伴うエアコン簡易点検の実施					
産業廃棄 物管理	保管管理 管理票管理	産業廃棄物保管場所表示と管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出					
環境社会 への貢献 活動	寄付 リサイクル	使用済切手の寄贈 使用済インクカートリッジのリサイクル回収 ダンボール・新聞・雑誌のリサイクル回収					

※1 電気排出係数:0.388(中部電力)を使用しました。

7. 実施体制

主催者	会議体	頻度	時期	内容
社長	朝礼	年2回	9月頃 2月頃	・環境経営指標結果全般(9月) ・前年度活動実績と課題(9月) ・今年度活動方針と計画(9月) ・活動結果の進捗状況(2月)
社長	朝礼	月1回	月度 朝礼:毎日	・環境負荷実績状況(月度)ガソリン、灯油など ・活動進捗状況 ・活動トピックス ・これからの活動予定 ・省エネ月間(2月)のPR ・環境月間(6月)のPR ・ワンポイント省エネ教育(ビジエネ活用) ・節電(冷暖房)呼びかけ



朝礼時に於ける活動進捗の確認

8. 教育・訓練

※個々社員の教育計画に基づく

	主催者	会議体	頻度	時期	内容
外部講習会への参加	浜松労働基準協会	技能講習:玉掛	年1回	11月	・技能講習を通じて、環境管理の実践と大切さを習得する
		技能講習:ガス溶接	年1回	12月	・若手に計画的に受講させる(人材育成)
		技能講習:クレーン運転	年1回	9月	
全従業員への教育・訓練	社長	朝礼	月1回	月度	・省エネ月間(2月)のPR
					・環境月間(6月)のPR
					・ワンポイント省エネ教育 (ビジエネ活用)

9. 環境コミュニケーション

	手段	結果
内部コミュニケーション	毎日の始業朝礼(規範・規則の確認)、社長・会長をはじめ全員での昼食	従業員への省エネ情報などの伝達 従業員からの意見フォロー 経営者の環境への取り組み方を伝える
外部とのコミュニケーション	苦情、要望の受付	近隣住民様からの苦情、要望は無し
環境経営結果の公表	環境経営レポートの発行	年度毎の活動結果の開示



毎朝の朝礼風景

要求事項9. 環境コミュニケーションの実施

外部とのコミュニケーションでは、環境経営レポートに基づく情報公開により、エコアクション21を適切に運用していることを示し、社外の関係者との対話を促進します。また、環境に関する苦情や要望などには適切に対応します。

結 果	期間: 2023年8月1日～2024年7月31日 社内・社外からの環境に関する苦情や要望はありませんでした。
------------	---

コミュニケーション報告(様式)

外部・内部コミュニケーション報告書

社外・社内からの環境に関する苦情や要望の受付

受付番号		外 部 ・ 内 部 ー	
受付年月日		年 月 日	
要望受付窓口(担当者)		岡 本 勝 彦	
社外関係者・社内従業員	氏 名		
	住 所		
	電話番号		
苦情や要望の内容		内部:従業員からの意見、提案の募集中含む	
原因			
対応結果		緊急かどうか判断する、暫定処置が必要か判断する	
再発防止策			
結果			
承認日		作成日	
承認者		作成者	

10. 実施・運用

主な環境活動及び取り組み状況

10-1. 省エネルギーの推進

① 社用車／個人車のガソリン・軽油の使用削減

1. 省エネ運転の励行
2. 効率的な物流経路の検討と実施
3. 熱中症を避けながらエアコン活用
4. アイドリングストップの活用
5. トラック・ハイエース・軽トラックの効率的な物流使い分け
6. ハイブリット車の利用

② 工場内及び事務所の省電力

1. 冷暖房：温度管理の徹底：夏28° 以上 冬18° 以下の励行
2. 外部自然風取り入れ（換気）＋エアコン使用の削減
3. エアコン＋サーキュレーター併用による冷房効果
4. 休み時間の消灯と窓を開放した十分な換気
5. 無人エリアでの消灯の心掛けと実行
6. ブラインドの有効活用による室温低下
7. 外気温に合わせた工場シャッター開閉の実施、エアコン使用
8. 高効率エアコン（更新済）
9. 湯沸かし：ガス→石油ストーブ熱を有効利用
10. 事務所窓の遮光塗装の採用
11. ピーク電力の削減 時間をずらしてエアコン（3台）スイッチオン

事例 1 事務所窓の遮光塗装の採用

夏場の高温対策として事務所の窓ガラスに遮熱塗料を塗布する。

↓
室温の低下、まぶしさの低減、周囲への照り返し温の低下
紫外線カット、赤外線カット、可視光線熱カット

↓
電気料の削減、窓際環境(暑さ)の解消



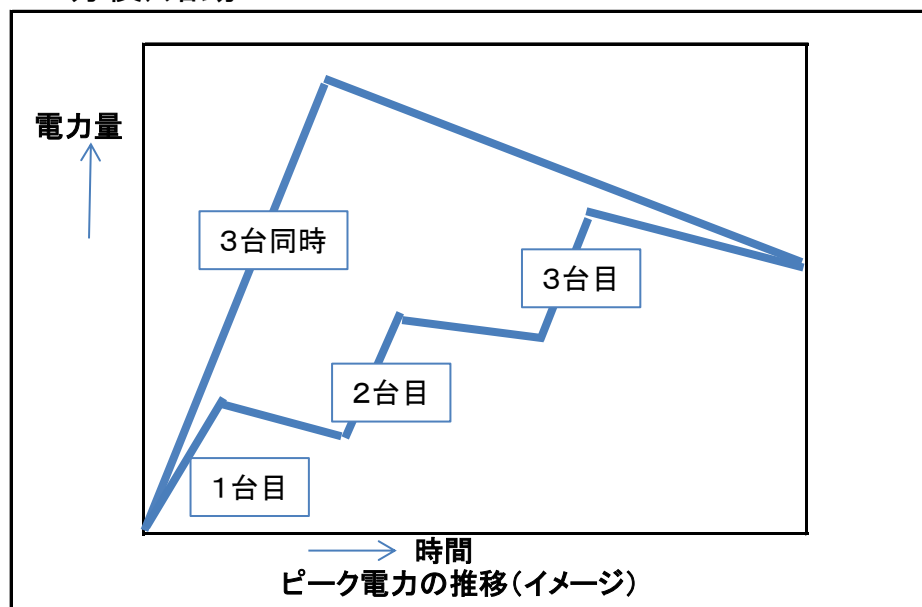
遮光塗料

事例 2 ピーク電力の低減

改善前 3台のエアコン: 同時ON→ピーク電力の急上昇
→基本電力量(料金)の増加



改善後 1台目始動～2台目(20分後)始動→3台目(さらに20分後)始動



10. 実施・運用 主な環境活動及び取り組み状況

10-2. 社会貢献活動

① 使用済切手の寄贈(従来からの継続活動)



② 使用済インクカートリッジのリサイクル回収(活動の形を変えて実施)



エコリカ回収ボックスを入手して
WWFに募金(1円/1個)



③ ダンボール・新聞・雑誌のリサイクル回収(従来からの継続活動)



10. 実施・運用

主な環境活動及び取り組み状況

10－3. 環境に配慮した製品開発

① 強度を維持しつつ軽量化、省資源化を図った踏台



トラック荷台への昇降踏台（転倒・落下対策）

10-4. 工場周囲環境の改善

改善前 雨水の排水 側溝式



改善後 雨水の漏れ流出防止としてパイプ化とした



10-5.産廃物保管方法の改善

改善前



産廃物を汎用パレットに投入している為間違えやすい



①産廃物専用のパレットを設置した

②保管場所表示を壁側に設置する

改善後



③廃却する産廃物(廃プラ)の種類を明記した

11. 緊急事態への準備と対応

11-1. 想定される緊急事態とその対応

	緊急事態	可能性の想定	対応
		○:可能性無し △:中程度の可能性有り ×:可能性大	
想定される環境上の事故・天災(地震・台風・火災など)	油の流出	○	灯油:ドラム缶の転倒防止
	化学物質の放出	○	保管:缶の密封管理
	基準値を超える排水の流出、排水設備の故障による処理水の流出	○	
	危険物、有害物質の流出	△	高圧ガスボンベ:転倒防止と点検
	火災の発生	×	消火設備の設定、点検、更新
	気候変動による水害	○	高台の為、水害の心配なし
	停電	○	100V発電機の購入
	断水	×	

11-2. 想定される緊急事態とその対応訓練

想定される緊急事態		可能性の想定	その対応訓練
1	危険物、有害物質の流出	△	高圧ガスボンベ:転倒防止点検
2	火災の発生	×	消火設備の設定、点検、更新

2024.3.6 対応訓練の実施

対応訓練の内容		点検結果	コメント
1	高圧ガスボンベ:転倒防止点検	良好	
2	消火設備の設定、点検、更新	良好	

11-1. 想定される緊急事態の対応訓練

緊急事態対応訓練実施報告書

スズエ浜松株式会社

承認	確認	作成
岡本	村瀬	永井

作成日：2024年3月14日
作成者：永井正夫

	実施内容
環境上の緊急事態 訓練名	危険物、有害物質の流出及び火災発生時の対応訓練
訓練実施日時	2024年3月6日 8時00分 から 8時 30分 まで
立会者	金山浩敏
訓練参加者	岡本・倉澤・山田・村瀬・鈴木・杉下・望月・堀池・足立（全員参加）
訓練内容	高圧ボンベの転倒防止の点検及び消火設備の点検
訓練結果	（実施内容） ・地震等による高圧ボンベ転倒及び火災発生を想定し、その転倒防止と消火設備を点検する。 （実施結果） ・高圧ボンベ転倒防止：チェーンの錆、劣化、摩耗など無し：良好。 ・消火器転倒防止枠：錆、劣化、摩耗無し：良好 ・消火器本体：取り扱い、更新時期、錆や劣化無し：良好 （立会者講評） 台風や線状降雨帯発生による大雨浸水や南海トラフ地震に対する常日頃の心構えを持って、危険予知・ヒヤリハット防止に取り組んで下さい。
対応策の検証	決めた対応策に問題はありませんでした。
規定・作業書改訂	■改訂の必要なし □改訂する （改訂内容） （改訂日 年 月 日）
緊急資材及び置場 レビュー・点検	緊急資材名称：特になし 緊急資材の量 ■適量 □少ない補充の必要有り □入れ替えの必要あり （実施済み・ ／ までに実施予定） 保管場所 ■定位置にて問題なし □位置が不明確 （実施済み・ ／ までに実施予定） 保管状況 ■良好 □新規入れ替えが必要 （実施済み・ ／ までに実施予定）

12. 文書管理

	文 書	当社の文書管理
1.	環境経営方針	エコアクション21レポート
2.	環境への負荷評価	環境への負荷の自己チェックシート
3.	環境への取組み評価	環境への取組の自己チェックシート
4.	環境関連法規などの取りまとめ(一覧表など)	環境保全ハンドブック(WEB版)
5.	環境経営目標	エコアクション21レポート
6.	環境経営計画	エコアクション21レポート
7.	実施体制(組織図上の役割)	エコアクション21レポート
8.	外部からの苦情などの受付状況と対応結果	現状、苦情無しの為、文書管理ナシ
9.	事故及び緊急事態の想定結果と対応策	エコアクション21レポート
10.	環境上の緊急事態の対応試行、訓練結果	エコアクション21レポート
11.	環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況、その評価結果	エコアクション21レポート
12.	環境関連法規などの遵守状況の結果	エコアクション21レポート
13.	活動問題点の是正処置、防止策の結果	(中間・更新)審査結果ファイル
14.	代表者による取組み状況の評価、見直し	エコアクション21レポート
15.	環境経営レポート	エコアクション21レポート

13. 取組結果とその評価、是正・予防

目標に対する実績

項 目		単位	2024年度目標 (6.1参照)	2024年度実績 (6.3参照)	率 (%)	評価
CO2排出量 削減目標 0.2%/年	購入電力の削減※1	kWh	23,563	24,390	104	○
	※1	kg-CO2 (0.388)	10,862	9,463	87	◎◎
	ガソリン使用量の削減	ℓ	2,017	1,966	97	◎
		kg-CO2 (2.32)	4,680	4,562	97	◎
	軽油使用量の削減	ℓ	1,068	1,108	104	○
		kg-CO2 (2.62)	2,753	2,859	104	○
	灯油使用量の削減	ℓ	1,008	938	93	◎
		kg-CO2 (2.49)	2,510	2,336	93	◎
	都市ガス使用量の削減	m3	70	89	127	△
		kg-CO2 (2.70)	151	192	127	△
	CO2排出量合計		20,956	19,412	93	◎◎
	売上高	万円			...	...
原単位	CO2指数(売上連動)				...	...
リサイクル 削減目標 2%/年	鉄 スクラップ [°]		20,501	8,950	44	◎◎
	ステンレス スクラップ [°]		1,409	351	25	◎◎
	アルミ スクラップ [°]		359	97	27	◎◎
	合 計		22,269	9,398	42	◎◎
資源利用 量 削減 目標3%/ 年	上水道使用量	m3	77	89	116	△
	従業員数	人	10	10		...
	一人当たり	m3	7.7	8.9	116	△
製品開発	環境に配慮した製品の 開発		1件以上	1	100	◎
化学物質 管理	切削油 塗料 フロン排出管理	SDSの入手管理、保管管理 SDSの入手管理、保管管理 「フロン排出抑制法」に伴うエアコン簡易点検の実施				
産業廃棄 物管理		産業廃棄物保管場所表示と管理(当社工場内) 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出(浜松市)				
環境社会 への貢献 活動		使用済切手の寄贈 使用済インクカートリッジのリサイクル回収 ダンボール・新聞・雑誌のリサイクル回収				

※1 電気排出係数:2023.8月～2024.7月:0.388(中部電力)を使用しました。

13. 取組結果とその評価、是正・予防

13-1. 取組結果とその評価

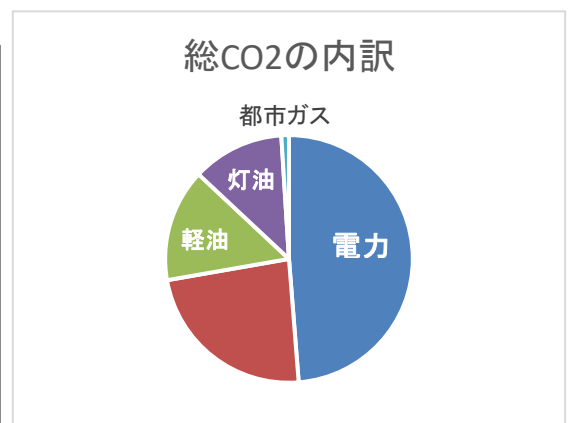
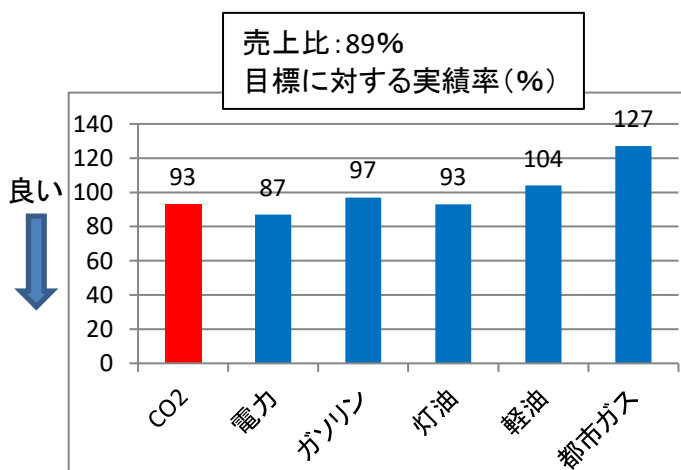
- 1 購入電力 ①工場内の灯油ストーブ暖房とエアコン暖房を有効的に併行使用して暖房効率を上げることが出来た。また冷房もエアコンスイッチ入れっぱなしでなく適温管理を指導し、実施されている。
②今期は記録的な猛暑が続き、エアコン冷房使用が増加した。
実績比: 昨年度: 23,610kWh → 今年度: 24,390kWh (104%)
目標比: 目標: 23563kWh → 24390kWh (104%)
- 2 ガソリン: 定常的な物流運搬があり、売り上げ減ほど削減出来なかった。
実績比 昨年度: 2022リットル → 今年度: 1966リットル (97%)
目標比 目標: 2,017リットル → 1,966リットル (97%)
- 3 その他
① 新しい試みとして、使用済みプリンターインクを活用して募金化出来た。

13-2. 是正

- 1 購入電力: 継続的に目標温度(夏季28℃以上、冬季18℃以下)を維持管理する、冬場の工場内暖房はエアコンと灯油ストーブを効率的に使い分ける。
- 2 ガソリン: 無駄のない物流ルートの実行実施と熱中症予防の冷房温度管理を心得る。
- 3 その他: 省エネに結び付く改善提案を皆で共有していく。

13-3. 予防

- 1 生産: 小ロット生産、月々の負荷変動に対して柔軟に対応できるように効率的な生産日程を構築しながら省エネを図る。
- 2 省エネ活動: 今までの省エネ活動を定着させ、継続して取り組む。
また、更新したエアコンによる効果を検証していく。
- 3 作業改善: 作業の3ム(ムダ・ムリ・ムラ)を減らして省エネに結び付ける。



14. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による環境経営全体の取り組み状況とその効果

- ・ 今年度の環境経営活動を振り返ると、基盤である経営状況は昨年来のコロナ禍による取引先の売り上げ減により、受注減や受注時期の延期となり売り上げ減少(受注量・受注金額)となっている。
- ・ CO2値は昨年と比べ仕事量減もあり削減する事が出来た。
- ・ 環境経営に対する日頃の従業員の意識と省エネ活動が成果に結びついている。
- ・ 事務所と工場が一体となって、照明や冷暖房削減活動を行い、省エネ活動の定着が出来ている。
- ・ 今後も省エネに結び付いた活動を継続的に推進して、経費削減やコスト削減に結び付け、結果としてCO2削減に結び付けていく。
- ・ 来年度も夏場の猛暑が予想される為、熱中症防止を図りながら活動を継続的に推進していく。

代表者による総括的な見直しと必要な指示

- ①環境経営方針、改定有無
方針に対し、特に改定の必要はありません。
- ②環境経営目標及び環境経営計画
目標・計画に対し、特に改定の必要はありません。
当社規模に合った計画～目標～具体的なテーマ活動を継続的に推進していく。
- ③実施体制、取り組み項目の見直し
 - I 猛暑が続く夏場でのエアコン使用はつけっぱなしにすることなく、冷え過ぎを防ぎながら、熱中症防止を図っていく。
 - II. 休憩時の室内換気＋冷暖房温度管理を徹底し、省電力化を推進する。

2024年9月30日

代表取締役 岡本勝彦